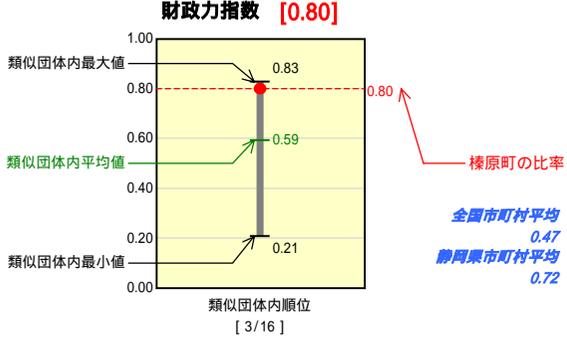


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

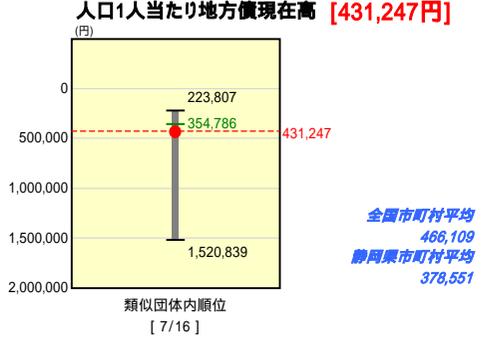
静岡県 榛原町

人口	24,902 人(H17.3.31現在)
面積	53.36 km ²
歳入総額	8,677,202 千円
歳出総額	8,345,473 千円
実質収支	331,361 千円

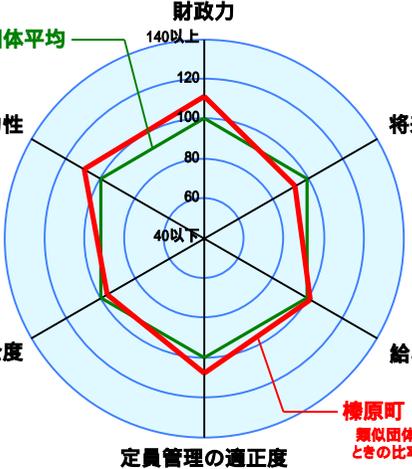
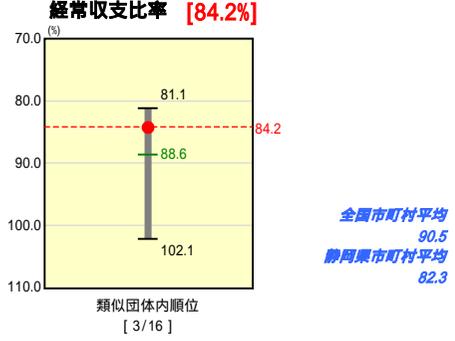
財政力



将来負担の健全度

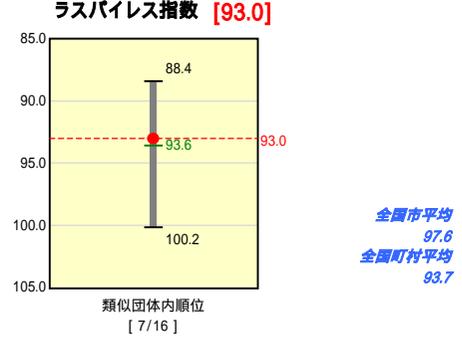


財政構造の弾力性

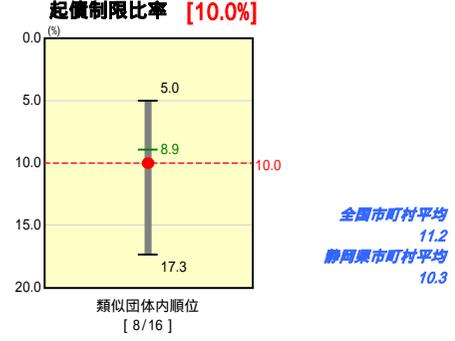


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

財政力指数: 平成13年度をピークに法人個人関係税の減少もあり基準財政収入額が低下しているが、一方で、過去の総合運動公園などの地域総合整備事業の算入額減少により基準財政需要額も低下していることもあり、指数が上昇した。今後さらに企業誘致を推進し、財源確保に努める。

経常収支比率: 扶助費公債費等の増加が上昇要因のため、合併を契機に行財政改革を積極的に進め、職員数の減や給与費等の適正化も含めた義務的経費の削減に努めて、上層傾向の抑制をしていく必要がある。

起債制限比率: 税収や地方交付税の減少により公債費負担が重くなっており、今後平成19年度に公債費負担のピークを迎える見込であり、合併後も事業を厳選し、地方債発行額の上限枠設定などにより借入総額管理を行い、残高の抑制に努める。

1人当たり地方債現在高: 現状では今後人口減少が見込まれ、人口1人当たり負担の増加となるため、建設事業の適正規模の検討も含め、起債事業の抑制を進める必要がある。

ラスパイレス指数: 合併を機に特殊勤務手当も見直し、厳しい財政状況の中で全ての事業内容の見直しに合わせ、適正な給与水準のあり方の検討を進める。

人口1,000人当たり職員数: 今後は保育園の民間委託を推進し、その他についても合併を機に退職と新規採用者数の見直しにより職員の削減を図る。

定員管理の適正度

